

# 点検ハンマー

第10号 発行日 2010年 9月5日 発 責 石尾 光春・編 集 地本車技常任委員会

## なぜ03侵入が起きたのか？

### 事故は個人の問題なのか？？

8月23日に起きた「03侵入」は、「起こしてはいけない事象」には間違いありません。私たちが気をつけて仕事をしなければなりません。すべてが個人の問題かと言うと、疑問が出てきます。私たちは、操縦に関わっている者、過去に関わっていた者、当該車両所の他の皆さんにも意見を聞いてきましたが、「起こるべくして起きた」「組織改正の集大成だ」との意見が大半でした。

車両所の組織改正以降、私たちは車両所間の連絡体制の悪さにより、トラブルや業務に支障が出ていることを情報等でも数多く明らかにしてきました。しかし、改善されたとは言えない状況が続いていました。

操縦担当者は、列車報に記載された業務を遂行するために庫2番線の車両に向かいました。しかし、出入扉を開けて運転台に入ったら、ブザーが鳴動、「VCB開放」「電気機器点灯」、「機器開放」がされていました。操縦担当者が少なからずパニックに陥ったことは容易に想像ができます。パニック状態で外勤に問合せに行ったとしても不思議なことではありません。

修繕車両所は事故後、構内操縦者全員に、「このような車両状態で運転はできるか？」と書面で回答を求めましたが、何もない状況では、考えるゆとり、気持ちのゆとりもあります。何も知らされない中で故障している車両に乗り込めば、パニックになるのも「当たり前」と言えます。あらかじめ車両状態の連絡さえあれば、今回の事故は防げたのではないのでしょうか？

約115名の社員のトップとして修繕車両所・古屋所長以下の管理者は「もっとしっかり連絡をしてくれ！」「あらかじめ連絡があれば、部下が事故に巻き込まれることはなかった！」と関係箇所に申し入れや抗議をしてくれたのでしょうか？ 誰か一人でもミスをすれば連帯責任だ！チェック表を増やすぞ！ あいつがミスをしたからこんなことになった！ ミスや不祥事を起こすような社員は皆でイジメて辞めさせろ！ というのが、松本前社長から山田社長に代わってのJR東海の姿勢なのか？ 車両所でも、1年前の作業の事情聴取がされたり、関連会社では5年前の作業の事情聴取がされたと聞きます。

若い社員の皆さん、このままで良いのですか？ これから先、定年退職まで働き続ける自信はありますか？ 「ミスをした社員」は自主退職に追い込まれているようです。

若い皆さん、いまの事態を打開するために、新しい組合を創るのも「ひとつの方法」かも知れません。